

令和2年度の川西まちづくり委員会の活動を報告します

今年度は、新型コロナウイルス感染防止のため事業だけでなく会議についても計画どおりの開催はできませんでしたが、その中で実施できた内容について報告いたします。

運営委員会

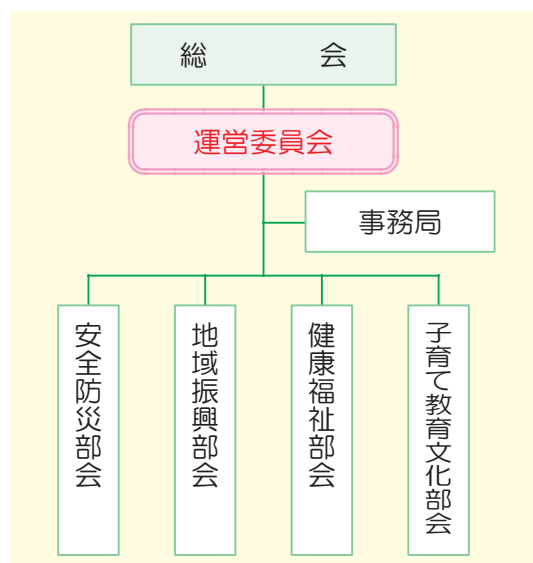
井澤 良夫 会長

運営委員会は、本委員会の重要事項の審議を行う機関で、予算・事業計画と決算・事業報告等を審議し、最終的に5月の総会において承認を受けています。

（備考：今年度は書面決議）

その他に、今年度から団体の活動費を支援する事業が開始されたことから、申請のあった団体に活動費を支給することが適切かどうか、また、事業終了後に提出される実績報告の内容の審査承認を行いました。今年度は、3団体から申請があり審査の結果承認され、活動費を交付しました。

令和3年度も、地域の団体によるまちづくり事業を支援して行く予定です。



地域振興部会

小林 久晃 部会長

四年目を迎えた「川西干し柿」事業では、事業開始当初からご指導をいただいている長野県農村工業研究所の滝沢さんを講師に講習会を開催しました。この講習会の参加者は、一連の干し柿作成作業のうち皮むきや硫黄燻蒸を体験していただき、実践的講習となりました。

その後、受講者が自宅で作った干し柿のお披露目会を1月に開きました。それぞれ工夫をこらした干し柿が紹介され、情報交換を行う中で技術向上の良い機会となりました。

なお、部会で作った干し柿は12月中旬に農産物直売所いずみの里の朝市で販売され、好評でした。



安全防災部会

増田 俊則 部会長

本部会では、安心して暮らすことができる地域づくりを目指し、今年度は「防災ハンドブック」を小泉、室賀、浦里の支部別に作成し全戸配布しました。（右側写真参照）

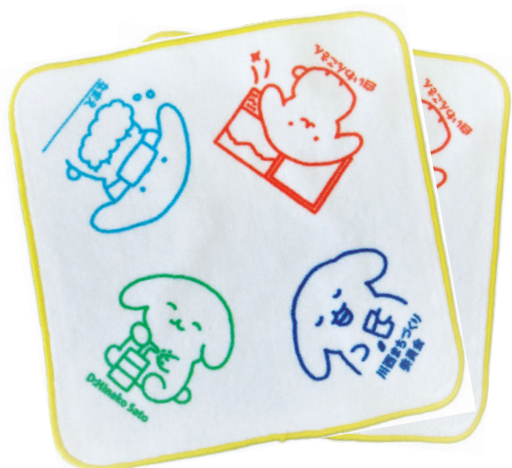
内容は、河川災害、土砂災害、ため池災害などの最新のハザードマップと、災害への心構えや準備、避難行動のタイミング等となっています。

また、9月には部会の研修として、新型コロナウイルス等感染症予防対策を考慮した避難所の運営方法について、危機管理防災課の担当者から説明を受けました。この内容については、来年度の事業に反映させていく予定です。



子育て教育文化部会

井澤 正雄 部会長



配布したタオルハンカチ

今年度から本部会は、子育て教育に文化を加えて広く活動することになりました。文化の分野では、今年度の活動として地域の伝統行事等を記録としてまとめていく方針でしたが、新型コロナウイルスの影響でほとんどの伝統行事が中止となったことから、来年度以降に延期されました。

また、当初の計画にはありませんでしたが、感染症の拡大を踏まえ、小学生に手ふき用のタオルハンカチを配布しました。これは、コロナ対策として学校で頻繁な手洗いが推奨されていることから、衛生教育と実用を兼ね作成したものです。ハンカチのデザインは子供たちに理解しやすいイラストや親しみやすい色使いとしました。（Design：Hinako Sato）

なお、当初の計画にあったメディアに接触する時間を減らす取り組みについては、人との接触を避ける観点から、オンラインやリモートによる授業などが推奨される状況の中では難しいため、休止しております。

健康福祉部会

大澤 義一 部会長

本部会では、今年度は地域の実情を知ることと必要な知識の習得を当面の目標とし、研修等を継続的に行うこととしました。これまでに実施した研修等の内容は、①地域包括支援センターに関する研修、②認知症サポーター養成講座受講、③社会福祉協議会に関する研修です。来年度は研修の内容を踏まえ、新たな事業を展開していく予定です。



認知症サポーター養成講座の様子
（写真提供：川西地域包括支援センター様）